

平成 28 年度富士山世界文化遺産協議会事業報告

1 富士山の保存管理に向けた取組

(1) 富士山世界文化遺産協議会の開催

世界遺産富士山の保存管理及び整備活用並びにその周辺環境の保全を推進するため、富士山世界文化遺産協議会を開催した。

日時・会場	開催内容
<p>【第9回】 平成 29 年 3 月 24 日(金) プラサヴェルデ 3階 コンベンションホールB</p>	<p>議事等 (1) 保全状況報告書について (2) 来訪者管理戦略に係る指標等の設定について (3) 平成 27 年度経過観察指標に係る年次報告について (4) 平成 28 年度事業報告及び収支決算（見込）について (5) 平成 29 年度事業計画（案）及び予算（案）について (6) 平成 29 年度会長の選出について (7) その他</p>

(2) 富士山世界文化遺産学術委員会の開催

ア 学術委員会

富士山世界文化遺産協議会に対し、学術的な見地から資産及びその周辺環境の保存管理と整備活用に関する助言、報告を行うため、富士山世界文化遺産学術委員会を開催した。

日時・会場	開催内容
<p>【第7回】</p> <p>平成 28 年9月 27 日(火)</p> <p>都道府県会館 4階</p> <p>402 会議室</p>	<p>報 告</p> <p>(1) 今夏の富士山の状況について</p> <p>議 事</p> <p>(1) 第 40 回世界遺産委員会決議への対応</p> <p>(2) 経過観察指標に係る年次報告について</p> <p>(3) その他</p>
<p>【第8回】</p> <p>平成 29 年2月 10 日(金)</p> <p>都道府県会館 1階</p> <p>101 大会議室</p>	<p>議 事</p> <p>(1) 保全状況報告書について</p> <p>(2) 来訪者管理戦略に係る指標等の設定について</p> <p>(3) 平成 27 年度経過観察指標に係る年次報告について</p> <p>(4) その他</p>

イ 学術委員会小委員会

来訪者管理戦略における指標等の設定に向けて、富士山世界文化遺産学術委員会委員のうち、世界遺産や公園管理に見識のある委員から事前に助言を受けるため、学術委員会小委員会を開催した。

日時・会場	開催内容
<p>【第1回】</p> <p>平成 28 年 11 月 28 日(月)</p> <p>都道府県会館 4階</p> <p>403 会議室</p>	<p>議 事</p> <p>(1) 来訪者管理戦略における指標案の検討について</p> <p>(2) 保全状況報告書（進捗状況報告）の様式案</p>
<p>【第2回】</p> <p>平成 29 年 1 月 25 日(水)</p> <p>都道府県会館 4階</p> <p>403 大会議室</p>	<p>議 事</p> <p>(1) 来訪者管理戦略における指標案の検討について</p>

(3) 富士山世界文化遺産協議会作業部会の開催

富士山世界文化遺産協議会における協議事項の事前調整等を行うため、富士山世界文化遺産協議会作業部会を開催した。

日時・会場	開催内容
【第11回】 平成28年10月21日(金) 富士宮市役所 7階 特大会議室	報 告 (1) 今夏の富士山の状況について 議 事 (1) 第40回世界遺産委員会決議への対応 (2) 経過観察指標に係る年次報告について (3) その他
【第12回】 平成29年3月15日(金) プラサヴェルデ 3階 301・302会議室	議 事 (1) 保全状況報告書について (2) 来訪者管理戦略に係る指標等の設定について (3) 平成27年度経過観察指標に係る年次報告について (4) その他

(4) 保全状況報告書素案の作成

保全状況報告書の附属資料となる「各種戦略の進捗（実施）状況」について、素案を作成した。

(5) 経過観察の実施及び報告書作成

富士山世界文化遺産学術委員会の助言や富士山世界文化遺産協議会作業部会の意見を踏まえ、経過観察指標に係る平成27年度の年次報告書を作成した。

また、モニタリングデータの集約・蓄積を行うため、年次報告書のデータベース化を進めるとともに、適切かつ効果的なモニタリングを実施していくため、一部の構成資産でモニタリング台帳・個票を作成した。

2 普及啓発に関する取組

(1) パンフレットの作成・配布

25 の構成資産ひとつひとつが資産全体の一部を成し、富士山の上方及び山麓における巡礼路全体の一部であることを来訪者が容易に認知・理解できるよう、また、山麓の構成資産への訪問を誘導するため、世界遺産富士山パンフレット（大人用・子供用）を増刷した。

(2) ホームページの更新及び情報発信

第 40 回世界遺産委員会決議（パラ 8 富士山における実践の共有）への対応するため、ホームページの全面的な改修を行い、世界遺産富士山の顕著な普遍的価値及び保全の取組等についての情報発信を行った。